

経済学部ゼミ成果発表会 課題解決型コンテスト部門

趣旨文

今年度の経済学部ゼミ成果発表会は、従来型の発表部門に加えて新たに「課題解決型コンテスト部門」を設け、2部門で開催されます。本ページでご案内する「課題解決型コンテスト」は、この新設部門です。「教室で学んだことを、現実の課題で試してみたい」という学生の声に応え、経済学部の先生方と卒業生が協力して立ち上げたもので、運営は経済学部卒業生の同窓会組織である國學院大學院友経済会ビジネス塾が担当します。

テーマは、『10年後の日本をより良くするような、新しい価値を生み出す提案』です。事業の提案に限らず、政策提言や制度・仕組みの提案など、手段は問いません。ゼミでの学びを土台に、デスクリサーチやインタビューなどを通じて仮説を検証しながら、思いつきで終わらない提案へと磨き上げていくプロセスそのものを大切にしています。フィールドワークの実施自体は必須ではありませんが、検証を重ねながら提案を練り上げていく過程は、審査でも重視するポイントです。

コンテスト部門の発表と審査は、ゼミ成果発表会当日（2026年12月13日）に行います。教員・学生・卒業生およそ300名が集う場で、皆さんの提案を発表してください。大学と卒業生が一体となって初めて実施する取り組みです。ぜひ、自分たちの提案を試す舞台として、この機会を活用してください。

開催概要

名称	経済学部ゼミ成果発表会 課題解決型コンテスト部門（略称：課題解決型コンテスト）
位置づけ	ゼミ成果発表会を構成する2部門（①従来型の発表部門／②課題解決型コンテスト部門）のうち、②として今年度新設

テーマ	「10年後の日本をより良くするような新しい価値を生み出す提案をしてください」
主催（共催）	國學院大學経済学部 國學院大學院友経済会ビジネス塾（経済学部卒業生の同窓会組織）
対象	経済学部のゼミ所属の学生
発表・審査	【予選】12月13日 10:00－11:45（予定）〔2号館の各教室〕 【本選】12月13日 13:30－16:30（予定）〔2101教室〕
エントリー期間	2026年10月上旬～10月31日（土）
説明会	実施せず、説明動画・想定Q&Aで代替します
メンター制度	希望制（詳細は別途ご案内します）
フィールドワーク	必須ではありません（検証のプロセス自体は審査で重視します）

■ 開催までの流れ

10/9（金）－10/31（土）	エントリー受付
10/31（土）	エントリー締切・チーム編成の確定（確定後、審査基準の詳細を参加チームに配布）
10月～11月中旬	リサーチ・仮説構築（フィールドワークは任意）
11月中旬～12月上旬	提案のブラッシュアップ（希望チームにはメンターがフィードバック）
12/13（日）	ゼミ成果発表会当日：コンテスト部門の発表・審査・表彰

募集要項

■ 応募資格・チーム要件

- ・ゼミ単位での申込み（1ゼミから複数チーム可）

■ 応募方法

- ・所定のエントリーフォームより、代表者情報・メンバー情報・テーマに対する現時点の問題意識などをご入力ください
- ・エントリー期間：2026年10月上旬～10月31日（土）

■ 審査基準

以下の5つの観点から評価します（各観点の詳細は、チーム編成の確定後に参加チームへお伝えします）。

- ① **着眼点** — 取り上げた問題の重要性と切り口
- ② **検証プロセス** — 自分たちで確かめにいったか
- ③ **効果** — 誰の何がどれだけ良くなるか
- ④ **実現可能性・持続可能性** — 担い手・資源・リスク
- ⑤ **網羅性・論理性** — 検討の抜けと論理の一貫性

- ・事業の提案と政策・制度の提案は、同じ観点で評価します（④は、政策・制度の提案の場合、担い手と財源の観点で評価します）。
- ・②の検証は、文献や統計による確認も、インタビューなどのフィールドワークと同等に評価します。フィールドワークの実施自体を必須条件や特別な加点対象とはしませんが、検討の深さや裏付けの確かさは審査の重要な要素です。
- ・発表の巧拙ではなく、提案の内容を評価します。

■ 応募にあたっての注意事項

- ・ 学外のコンテスト等にすでに提出した内容を、そのまま流用して応募することはできません。
- ・ テーマを幅広く設定しているため、ゼミや他のコンテストですでに取り組んでいるテーマと近い内容になること自体は問題ありません。ただし、過去に作成した成果物をそのまま提出するのではなく、本コンテストに向けて改めて検討・ブラッシュアップした内容でご応募ください。

■ メンター制度

希望するチームには、メンターがつく制度をご用意しています（希望制）。頻度や関わり方はメンターごとに異なります。詳細は別途ご案内します。

■ 表彰（予定）

- ・ 最優秀賞（1 チーム）
- ・ 優秀賞（1～2 チーム）
- ・ オーディエンス賞（来場者投票による、1 チーム）
- ・ 企業賞（協賛企業が確定した場合のみ）